

日本国とコロンビア共和国との間の共同声明

(和文仮訳)

安倍晋三日本国総理大臣閣下は、2014年7月28日から7月30日までコロンビア共和国を訪問し、7月29日にはフアン・マヌエル・サントス・カルデロン大統領と会談を行った。両首脳は、両国間の協力、二国間及び国際関係並びに経済関係に関する建設的な会談を行った。

1. サントス大統領は、日本国総理として初めてコロンビアを訪問する安倍総理を歓迎した。
2. 両首脳は、1908年の外交関係樹立以来100年以上にわたる二国間の友好関係の進展に満足の意を表明した。安倍総理は、コロンビア政府の努力により達成された近年のコロンビア国内における治安の改善、経済の発展を高く評価する旨表明した。
3. 安倍総理は、日本の平和国家としての根幹を維持し、国際社会の安全と平和、安定と繁栄に向けてより積極的に貢献するための日本の政策及び関連する施策を説明した。サントス大統領は安倍総理からの説明を称賛するとともに、平和国家としての日本の努力に対する敬意を表した。
4. 両首脳は、両国間の高いレベルでの政治対話が果たす役割を強調するとともに、両国外務省間の定期的な政策対話を促進する重要性を認識した。
5. 安倍総理は、日本国政府が引き続き、均衡のとれた経済成長、環境及び防災といった分野での二国間協力をコロンビアに対して実施する意図を表明した。これに対し、サントス大統領は、地雷関連の支援や防災を含む経済・社会分野におけるこれまでの日本からの協力を謝意を表明した。
6. サントス大統領は更に、「一村一品運動」を展開するための国際協力機構(JICA)を通じた日本政府による多大な支援への謝意を表明

した。この運動により、農村地域の人々は、自らの生活の質の向上とともに、地元の発展に貢献する機会を得てきた。

7. 安倍総理は、日本国民を代表して、2011年3月に発生した東日本大震災に対処するためコロンビアから日本に寄せられた温かい支援に深い感謝の意を表明した。
8. サントス大統領は、安倍総理に対し、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催に祝意を示した。両首脳は、よりよい未来のためにスポーツの価値を広め、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを促進することを目的とする「Sport for Tomorrow」イニシアティブの重要性を改めて指摘した。
9. 両首脳は、これまでの両国間の学術交流及び文化交流について満足の意を表明するとともに、これらの分野及び観光分野での協力を一層推進する意思を共有した。サントス大統領は、1982年以来コロンビアにおける26の文化プロジェクトに対して供与されてきた日本の文化無償資金協力を感謝の意を表した。
10. サントス大統領は、2年間にわたり行われているコロンビア上級軍事学校幹部候補生の日本の防衛省による受入れへの感謝を表明するとともに、両国防衛当局間の人的交流継続への期待を表明した。安倍総理は、両国防衛当局間の人的交流を歓迎した。
11. サントス大統領は、FARCとの和平交渉プロセスにおける進展について説明し、安倍総理は、コロンビアにおける早期の和平実現への支持を表明した。
12. 両首脳は、自由貿易の重要性を再確認し、日本・コロンビア経済連携協定（EPA）交渉の進展を歓迎するとともに、できる限り早期の合意を目指し交渉を加速化することを確認した。
13. 安倍総理は、日本・コロンビア投資協定の発効に必要なコロンビア国内手続の早期完了への強い期待を表明した。安倍総理とサントス大統領は、両国間の経済関係を一層促進する意図を共有した。
14. 安倍総理は、今回の総理一行への日本企業のCEOの同行及び

日・コロンビア経済合同委員会の開催に示されるとおり、日本企業の間で近年の前向きな変化を受けコロンビアに対する関心が高まっていることを強調した。これに対し、サントス大統領は、日本企業CEOのコロンビア訪問及び日・コロンビア経済合同委員会の開催を歓迎し、コロンビアにおいて日本の民間部門の事業のために良好なビジネス環境を提供する旨表明した。

15. 両首脳は、日・コロンビアの特許審査ハイウェイ・プログラムの早期試行開始を含む知財分野における当局間の協力の進展を歓迎した。
16. 安倍総理は、日本企業による光ファイバー網の整備を通して、コロンビア政府の「Vive Digital」政策に盛り込まれたデジタル網の拡充政策を支援する意向を表明し、サントス大統領は日本企業によるコロンビアのデジタル網整備のための協力を歓迎した。
17. 安倍総理は、コロンビアの天然資源開発における日本企業の事業への投資環境が一層整うことへの期待感を表明した。サントス大統領は、日本からの投資がコロンビア国民に裨益する技術移転や革新をもたらす前向きな効果を認識しつつ、日本からの生産部門への投資の重要性を表明した。サントス大統領は、生産部門における日本企業の事業のため、適用可能な国際及び国内の法及び政策に従って引き続き投資環境の促進と整備を行う意思を表明した。
18. 両首脳は、国連安保理改革の重要性を再確認し、互いの国の立場を尊重しつつ、国連総会において開かれたかつ透明な政府間交渉を継続する必要性で一致した。
19. 両首脳は、法の支配に対する尊重を表明し、国連憲章の原則及び目的といった国際法の重要性を強調した。
20. 両首脳は、非国家武装主体を含むあらゆる主体による対人地雷の使用、保管、生産及び移転を断固として非難した。対人地雷により生じる痛ましい苦しみや負傷に終止符を打つという断固たる決意をもって、両首脳は、全ての国家及び非国家主体に対し、地雷のない世界に向けて前進するため、対人地雷禁止条約の規定の遵守を呼びかけた。

- 2 1. 両首脳は、小火器に関する国連行動計画（UNPoA）を効果的に実施し、毎年国連総会第1委員会における UNPoA 決議の共同提案及び採択を促進することを約束した。
- 2 2. 安倍総理は、北朝鮮による核兵器及び弾道ミサイルの開発の継続に懸念を表明した。両首脳は、非核化に向けた具体的な行動と、全ての関連する安保理決議と六者会合共同声明（2005）の義務を果たすよう強く求めた。両首脳は、国際社会が有する人道上の懸念である拉致問題の解決に向け、北朝鮮の人権状況に関する国連決議を含め、協力していくことで一致した。
- 2 3. 安倍総理は、「女性が輝く社会」に向けたビジョンに言及し、関連する国際機関及び国際社会との協力を強化し、女性の地位向上及び社会進出の推進に貢献していく決意を表明した。これに対して、サントス大統領は、日本の取組を高く評価し、社会において女性が果たすべき重要な役割に鑑み、この分野において両国の協力を維持する重要性を強調した。
- 2 4. 安倍総理は、コロンビアが太平洋同盟の議長国の期間中に果たしたリーダーシップを評価し、引き続き太平洋同盟と日本の緊密な関係構築を更に進展させる意図を表明した。サントス大統領は、アジア太平洋地域と中南米地域の経済関係及び統合の醸成に貢献するメカニズムである太平洋同盟への日本の関心を歓迎した。日本と太平洋同盟の間の対話の強化について、両首脳は、協力を強化し、相互に裨益する協力を促進する重要性を再確認した。
- 2 5. 両首脳は、ポスト2015年開発アジェンダ策定や気候変動における新たな国際枠組の構築に向けての協力を含む地球規模課題に取り組むことの重要性を再確認した。両首脳は、2015年3月に仙台で開催される第3回国連防災世界会議の成功に向けた協力を再確認した。
- 2 6. 安倍総理は、コロンビアのOECD加盟プロセスの進展を歓迎し、早期のOECD加盟への期待を表明した。サントス大統領は、本年のOECD閣僚理事会議長国たる日本による、しなやかで強靱（レジリエント）な経済と包摂的社会に向けたイニシアティブを支持し

た。

安倍総理は、サントス大統領及びコロンビア国民の一行への温かい歓迎及び厚意に対し感謝の意を表明した。

ボゴタ

2014年7月29日